

第11表

労働災害死傷者数

本表は労働基準法施行規則様式第26号の1および2の労働死傷者報告者によつた各年中の数字である。この表には業務外の負傷および疾病並びに業務上の疾病中、けい銃、鉛中毒等発生日の明らかでない職業性疾患または食中毒および急性伝染病は含まれていない。

産 業	総 数			死 亡			休 業 8 日 以 上		
	昭和35年	昭和36年	昭和37年	昭和35年	昭和36年	昭和37年	昭和35年	昭和36年	昭和37年
総 数	48 510	51 080	46 912	436	524	410	48 074	50 556	46 502
製 造 工 業	27 640	28 334	25 789	152	176	120	27 488	28 158	25 669
金 属 製 錬 業	260	354	352	6	10	7	254	344	345
機 械 器 具 工 業	12 324	12 989	11 963	63	76	39	12 261	12 913	11 924
電 気 工 業	6 206	6 390	5 732	23	30	38	6 183	6 360	5 694
水 道 工 業	45	23	15	3	-	1	42	23	14
学 校 工 業	44	41	30	2	3	1	42	38	29
化 学 工 業	43	34	27	2	3	1	41	31	26
業 務 上 の 工 業	1 705	1 759	1 471	15	23	11	1 690	1 736	1 460
製 材 工 業	685	646	587	3	6	4	682	640	583
紡 織 工 業	1 986	1 894	1 693	4	5	2	1 982	1 889	1 691
食 料 工 業	1 884	1 817	1 529	17	7	3	1 867	1 810	1 526
印 刷 工 業	804	747	713	8	5	5	796	742	708
そ の 他 の 工 業	548	467	433	1	1	3	547	466	430
土 石 採 取 業	1 106	1 173	1 244	5	7	5	1 101	1 166	1 239
交 通 運 輸 事 業	171	159	174	5	2	7	166	157	167
日 本 国 有 鉄 道	1 812	1 710	1 706	36	27	29	1 776	1 683	1 677
地 方 鉄 道 お よ び 軌 道 業	90	129	124	4	7	4	86	122	120
そ の 他 の 運 輸 事 業	306	320	301	3	2	2	303	318	299
建 設 事 業	1 416	1 261	1 281	29	18	23	1 387	1 243	1 258
地 下 鉄 道 建 設 事 業	10 034	11 232	11 000	149	206	152	9 885	11 026	10 848
ト ン ネル 建 設 事 業	27	7	63	-	-	4	27	7	59
鉄 骨 鉄 筋 建 設 事 業	25	133	40	2	3	1	23	130	39
一 般 土 木 建 設 事 業	3 242	3 411	2 927	57	62	36	3 185	3 349	2 891
鉄 道 軌 道 建 設 事 業	3 025	3 409	3 449	33	44	39	2 992	3 365	3 410
そ の 他 の 建 設 事 業	105	102	138	2	3	3	103	99	135
貨 物 取 扱 事 業	2 610	3 114	3 530	30	49	50	2 580	3 065	3 480
港 湾 荷 取 扱 事 業	1 000	1 056	853	25	45	19	975	1 011	834
林 業	7 108	7 821	6 609	56	67	63	7 052	7 754	6 546
そ の 他 の 事 業	2 005	2 267	1 959	12	21	22	1 993	2 246	1 937
	5 103	5 554	4 650	44	46	41	5 059	5 508	4 609
	41	38	31	1	1	-	40	37	31
	1 704	1 786	1 603	37	45	39	1 667	1 741	1 564

資料 大阪労働基準局。

第12表

都道府県別火災・交通事故・災害住宅数

本表の1)には放火の場合を除き被害額のない件数は含まれていない。2)では重複事故を1件として計上。3)では「火災」「風水害」「震災」等により住宅の機能を失った戸数を示すが除却戸数を含んでいる。

府 県	1) 火 災 数			2) 交 通 事 故 件 数			3) 災 害 住 宅 数			
	(昭和36年中)	(昭和37年中)	(昭和36年中)	(昭和36年中)	(昭和37年中)	(昭和36年中)	(昭和36年中)	(昭和37年中)	(昭和36年中)	
全 国	47 106	493 693	127 813	521	2 581	1 045	島 根	384	1 562	612
北 海 道	2 506	11 732	2 378	413	2 655	2 261	山 川	877	6 389	549
青 森 県	678	2 779	2 075	299	1 111	1 057	福 山	1 033	6 340	1 232
岩 手 県	650	2 437	2 559	221	2 236	600	山 口	686	6 555	754
宮 城 県	810	3 978	842	569	4 100	1 376	島 根	372	2 162	654
秋 田 県	461	1 884	591	658	6 463	2 938	香 川	370	2 366	275
山 形 県	542	2 565	680	1 494	20 717	860	愛 媛	563	1 927	421
福 岡 県	790	2 861	576	2 293	25 925	4 201	高 知	368	2 601	420
次 郎 郡	560	3 707	420	508	6 940	1 120	福 佐	1 874	16 173	2 049
栲 木 郡	701	4 495	584	245	6 866	4 143	香 川	249	2 838	262
群 馬 県	673	5 226	1 081	655	25 955	5 263	長 門	453	3 783	737
埼 玉 県	973	8 097	867	4 308	65 867	10 572	熊 本	565	3 000	616
千 葉 県	779	8 205	1 272	2 275	31 144	2 376	大 分	581	2 760	1 503
東 京 都	8 678	139 629	18 920	199	1 927	1 466	鹿 児 島	392	1 581	640
神 奈 川 県	2 768	21 291	3 525	350	3 341	13 112		521	1 979	11 915
新 潟 県	969	4 622	15 740	272	1 141	674				

資料 建設省計画局調査統計課（建築統計年報）消防庁教養課（火災年報）大阪府警察本部（交通年鑑）





市 町 村 地

市 町 村	昭和38 ~35年	昭和34年	昭和33年	昭和32年	昭和31年	昭和30年	昭和29 ~2年	大正年代	明治年代
高 槻 市 (昭18.1.1)	(4.1)(合) 茨木市の一部	(4.1)(合) 京都府樫田村			(9.30)(合) 富 田 町	(4.3)(合) 三箇牧村	(18.1.1)(昇) 三島郡高槻町を市制施行。 (25.1.1)(全) 五 領 村	何所村 三箇牧町に併	
貝 塚 市 (昭18.5.1)							(18.5.1)(昇) 泉南郡貝塚町に市制施行。		
守 口 市 (昭21.11.1)				(4.1)(合) 庭 窪 町			(21.11.1) (合・昇) 北河内郡守口町、三須町を廃し守口市を設置		
枚 方 市 (昭22.8.1)						(10.15)(合) 津 田 町	(22.8.1)(昇) 北河内郡枚方町に市制施行。		
茨 木 市 (昭23.1.1)	(4.1)(分) 一部を高槻市へ	(1.1)(合) 吹田市の一部	(3.30)(合) 三 宅 村 (4.1)(分) 一部を箕面市へ (7.1)(分) 一部を三島町へ	(12.15)(合) 箕面市の一部	(4.3)(合) 福 井 村 河 山 村 石 見 清 村 (4.15)(分) 一部を東能勢村へ	(23.1.1) (合・昇) 三島郡茨木町、三島村、春日村、玉櫛村を廃し茨木市を設置。 (20.2.10)(合) 安 威 村 玉 島 村			
八 尾 市 (昭23.4.1)			(4.1)(合) 志 紀 町		(2.1)(合) 河内市の一部 (4.3)(合) 高 安 村 高 南 村 曙 川 村	(23.4.1) (合・昇) 中河内郡八尾町、大正村、西部村、竜華町、久宝寺村を廃し八尾市を設置。			
泉 佐 野 市 (昭23.4.1)						(23.4.1)(昇) 泉南郡泉佐野町に市制施行。 (20.4.1)(合) 日 根 野 村 長 滝 郷 村 上 之 郷 村 南 中 通 村 大 土 村			
富 田 林 市 (昭25.4.1)			(1.15)(合) 東 条 村			(25.4.1)(昇) 南河内郡富田林町に市制施行。			

域 変 遷 表 (続)

市 町 村	昭和38 ~35年	昭和34年	昭和33年	昭和32年	昭和31年	昭和30年	昭和29 ~2年	大正年代	明治年代
寝 屋 川 市 (昭26.5.3)	(20.6.20)(合) 水 本 村								
河 内 長 野 市 (昭29.4.1)									(20.5.3)(昇) 北河内郡寝屋川町に市制施行。 (20.4.1) (合・昇) 南河内郡長野町、高向村、三日月村、加賀田村、天見村、川上村を廃し河内長野市を設置。
枚 岡 市 (昭30.1.11)									(1.11)(合・昇) 中河内郡枚岡町、石切町、孔舎衛村、繩手町を廃し枚岡市を設置。
河 内 市 (昭30.1.15)		(1.20)(合) 大東市の一部 (1.20)(分) 一部を大東市へ							(1.15)(合・昇) 中河内郡三野郷村、英田村、盾津町、玉川村を廃し河内市を設置。 (2.1)(分) 一部を八尾市へ (2.1)(合・昇) 中河内郡松原町、天美村、布忍村、三宅村、恵我村を廃し松原市を設置。
松 原 市 (昭30.2.1)					(4.1)(合) 美原町の一部 (10.15)(合) 北八下村の一部				
大 東 市 (昭31.4.1)		(1.20)(分) 一部を河内市へ (1.20)(合) 河内市の一部							(4.1)(合・昇) 北河内郡南郷村、住道町、四条町を廃し大東市を設置。
和 泉 市 (昭31.9.1)	(35.8.1)(合) 信 太 村 八 坂 町 (30.11.1)(分) 一部を泉大津市へ								(0.1)(合・昇) 泉北郡和泉町、北池田村、南池田村、北松尾村、横山村、南横山村を廃し和泉市を設置。
箕 面 市 (昭31.12.1)					(4.1)(合) 茨木市の一部				(12.1)(昇) 豊能郡箕面町に市制施行。 (12.15)(分) 一部を茨木市へ

市 町 村 地

域 変 遷 表 (続)

市 町 村	昭和38 ~35年	昭和34年	昭和33年	昭和32年	昭和31年	昭和30年	昭和29 ~2年	大正年代	明治年代
柏原市 (昭33.10.1)			(10.1)(昇) 中河内郡柏原町に市制施行。						
羽曳野市 (昭34.1.15)		(1.15)(改・昇) 南河内郡南大阪町に市制施行。 同日改称。							
門真市 (昭38.8.1)	(30.8.1)(昇) 北河内郡門真町に市制施行								
三島郡 島本町 (昭15.4.1)							(15.4.1)(昇) 島本村に町制施行。		
三島町 (昭31.9.30)	(30.4.1)(分) 一部を吹田市へ			(7.1)(合) 茨木市の一部	(9.30)(合・昇) 味舌町、味生、鳥飼村を廃し三島町を設置。				
豊能郡 東能勢村 (昭31.9.30)			(4.1)(合) 京都府亀岡市の一部		(9.30)(合) 吉川村、東能勢村を廃し東能勢村を設置。				
能勢町 (昭31.9.30)	(9.3)(合) 東郷村				(9.30)(合・昇) 歌垣村、田尻村、能勢村を廃し能勢町を設置				
泉北郡 高石町 (大4.4.1)							(28.4.1)(合) 取石村	(4.4.1)(昇) 高石村に町制施行。	
忠岡町 (昭14.10.1)							(14.10.1)(昇) 忠岡村に町制施行。		
泉南郡 熊取町 (昭26.11.3)							(26.11.3)(昇) 熊取村に町制施行。		

市 町 村	昭和38 ~35年	昭和34年	昭和33年	昭和32年	昭和31年	昭和30年	昭和29 ~2年	大正年代	明治年代
田尻町 (昭28.5.31)							(28.5.31)(昇) 田尻村に町制施行。		
泉南町 (昭31.9.30)					(9.30)(合・昇) 新家村、信達町、西信達村、鳴滝村、橋井町、雄信達村を廃し泉南町を設置。				
南海町 (昭31.9.30)	(30.4.15)(交) 東鳥取町の一部				(9.30)(合・昇) 尾崎町、西鳥取村、下荘村を廃し南海町を設置。				
東鳥取町 (昭35.11.1)	(35.11.1)(昇) 東鳥取村に町制施行。  (30.4.15)(交) 南海町の一部								
岬町 (昭30.4.1)						(4.1)(合) 淡輪村、深日町、孝子村、多奈川町を廃し岬町を設置。			
南河内郡 太子町 (昭31.9.30)					(9.30)(合・昇) 磯長村、山田村を廃し太子町を設置。				
河南町 (昭31.9.30)					(9.30)(合・昇) 石川村、白木村、河内村、中村を廃し河南町を設置。				
千早赤阪村 (昭31.9.30)					(9.30)(合・昇) 千早村、赤阪村を廃し千早赤阪村を設置。				

市町村地域変遷表 (続)

指定統計一覽

本表には他府県のみに関するものおよび昭和35年までに実施された1回限りの指定統計調査の分は省いてある。

市 町 村	昭和38 ~35年	昭和34年	昭和33年	昭和32年	昭和31年	昭和30年	昭和29 ~2年	大正年代	明治年代
狭山町 (昭26.4.1)							(28.4.1)(昇) 狭山村に町制施行。		
美原町 (昭31.9.30)			(7.1)(合) 南八下村の一部	(4.1)(合) 南大阪町の一部	(9.30)(合・昇) 平尾村、黒山村、丹南村を廃し美原町を設置				
美陵町 (昭35.1.1)	(35.1.1)(改) 藤井寺道明寺町を改称								
北河内郡 交野町 (昭14.7.1)						(4.1)(合) 星田村	(14.7.1) (合・昇) 交野村、磐船村を廃し交野町を設置。		
四条畷町 (昭22.7.1)	(36.8.25)(合) 田原村						(22.7.1)(昇) 四条畷村に町制施行。		

指定 番号	名 称	作 成 者	実施期日	指定 番号	名 称	作 成 者	実施期日
1	国勢調査	内閣統計局	5年ごとの 10月1日	49	非鉄金属等需給動態統計調査	通商産業大臣	毎月末
2	事業所統計	"	3年ごとの 7月1日	51	石油製品需給動態統計	通商産業・運輸大臣	"
5	人口動態調査	厚生大臣	毎月末	53	屋外労働者職種別賃金調査	労働大臣	毎年8月31日
6	港湾調査	運輸大臣	"	54	海面漁業漁獲統計調査	農林大臣	毎月
7	毎月勤労統計調査	労働大臣	"	55	労働生産性統計	労働大臣	毎年2月
9	学校教員調査	文部大臣	3年ごと 告示で指定	56	家計調査	総理府統計局長	毎月
10	工業統計調査	通商産業大臣	毎年12月31日	57	個人商工業経済調査	"	毎四半期
11	通産省生産動態統計調査	"	毎月末	58	貿易業態統計調査	通商産業大臣	毎年3月31日
13	学校基本調査	文部大臣	毎年の 指定期日	60	厚生行政基礎調査	厚生大臣	毎年4月1日
14	住宅統計	総理府統計局長	5年ごと	61	科学技術研究調査	総理府統計局長	"
15	学校保健統計調査	文部大臣	毎年4月	62	学校教員需給調査	文部大臣	3年ごと 告示で指定
19	繊維流通統計	通商産業大臣	毎月25日	64	商業動態統計調査	通商産業大臣	毎四半期、毎月
21	海難統計	海上保安庁長官	海難発生の都度	65	医療施設調査	厚生大臣	毎年12月31日
23	商業統計	通商産業大臣	2年ごと 告示で指定	66	患者調査	"	毎年告示で指定
27	石炭等需給動態統計調査	"	毎月末	67	漁業センサス	農林大臣	5年ごとの 1月1日
28	船舶船員統計	運輸大臣	毎年の 指定期日	68	国民健康調査	厚生大臣	毎年告示で指定
29	造船造機統計	"	毎月末	69	製材統計調査	農林大臣	毎四半期末
30	労働力調査	総理府統計局長	毎月	71	鉄道車両等生産動態統計調査	運輸大臣	毎月末
32	建築着工統計	建設大臣	毎月末	73	職種別等賃金実態調査	労働大臣	告示で指定
33	畜産物調査	農林大臣	毎月	77	民間給与実態調査	国税庁長官	毎年12月31日
34	百貨店販売統計調査	通商産業大臣	"	79	社会医療調査	厚生大臣	毎月
35	小売物価統計	総理府統計局長	"	82	学校給食調査	文部大臣	大臣指定年の 6月30日
36	農家経済調査	農林大臣	"	84	建設工事統計	建設大臣	毎四半期
37	作物調査	"	夏作、冬作 収穫期	87	就業構造基本調査	内閣総理大臣	31年以後3年 ごと7月1日
38	養蚕収量調査	"	春、夏、秋作 収穫期	90	船員労働統計	運輸大臣	毎四半期
39	農業動態調査	"	毎年2月1日	91	法人企業投資実績統計調査	経済企画庁長官	毎年3月31日
40	埋蔵鉱量統計調査	通商産業大臣	毎年4月1日	95	洋紙流通統計調査	通商産業大臣	毎月末
42	国際観光統計	運輸大臣	毎月末	97	全国消費実態調査	総理府統計局	5年ごとの指 定期日
43	ガス事業生産動態統計調査	通商産業大臣	"	99	自動車輸送統計	運輸大臣	毎月
48	薬事工業生産動態統計	厚生大臣	"	100	米生産費統計	農林大臣	毎年4月1日
				101	機械器具流通統計	通商産業大臣	毎月

昭和37年度大阪府

統計刊行物目録

刊行物の名称	内 容 項 目	主管部課名	刊行の 周 期	創 刊 年 月 日	定価
大阪府統計年鑑	人口、産業、経済、教育、生活、文化、災害その他各種統計	企画部統計課	年 刊	明治16. 9	非売品
大阪府勢要覧	同上要約版	"	"	昭和24. 3	"
大阪の統計	同上主要統計の月間速報、統計理論と解説	"	月 刊	" 23. 7	"
大阪府民所得	府民分配所得、生産所得、個人支出、個人業主、勤労所得、実質所得等	"	年 刊	" 28	"
大阪府の人口	市町村別世帯数、人口、面積等	"	"	" 34	"
大阪府就業及び失業実態調査	就業、不就業別、産業分類別、従業上の地位別人口等	"	"	" 33. 10	"
大阪府鉱工業生産指数	鉱工業部門別、品目別生産指数	"	"	" 29. 1	"
農業調査	市町村別農家、農家人口、耕地面積、家畜きん数、収穫面積等	"	"	" 26	"
毎月勤労統計調査地方調査結果速報	産業別、性別労働者の平均賃金、労働時間、出勤日数等	"	月 刊	" 24. 4	"
工業統計調査結果表	産業分類別、市町村別製造工業事業所数、従業者数、出荷額等	"	年 刊	" 24. 12	"
学校基本調査結果報告	学校種別、市郡別学校数、教員数、生徒数、中、高校卒業後の状況等	"	"	" 23. 3	"
学校保健調査結果報告	学校種別、年齢、性別、身長、体重、胸囲、産業および身体検査状況	"	"	" 31. 3	"
昭和37年商業統計調査結果表	市町村別、業種別商店数、従業者数、商品販売額等	"	2年ごと	" 36. 3	"
大阪府税務統計	財政、府税の調停収入、滞納府税、税制、税務機構および給員、府税徴税費等	総務部税政課	年 刊	" 26. 3	"
大阪府消防統計	市郡別、原因別火災件数、被害額等	民生部福祉防災課	"	大正11. 3	"
国民健康保険事業状況	被保険者数、保険経理状況、給付状況	" 国民健康保険課	"	昭和29	"
生活保護統計	福祉事務所別、町村別保護状況、医療扶助人員、生活保護費支出状況等	" 社会課	月 刊	" 35. 7	"
労働経済指標	賃金労働時間の推移、労働者の1月平均現金給与額、月末推計労働者数等	労働部労政課	年 6回	" 30. 1	"
賃金事情調査概要	実働時間数、産業別、規模別、平均賃金、賃金構成、福利厚生施設等	"	年 刊	" 33. 3	"
労働情勢	年月別形態別労働争議、件数参加人員数および直接損失日数、産業別形態別労働争議件数参加人員数および直接損失日数	"	月 刊	" 22	"
労働組合名簿	組合数および組合員数、労働組合諸統計	"	年 刊	" 21. 5	"
労働市場速報	一般職業紹介(求人、求職、就職)状況、日雇職業紹介状況、失業保険、企業整備状況等	職業安定課	月 刊	" 25. 1	"
労働市場概要	上記各種統計の年間集計と解説	"	年 刊	" 25. 3	"
昭和37年学卒者の就職状況	中、高校卒業者の求人求職、紹介就職状況ならびに他府県からの赴任者の統計と解説	"	"	" 30. 11	"
昭和37年新規学校卒業者の初任給調査	中学、高校、短大、大学卒業者の男女別、産業別、規模別、初任給平均および初任給分布状況	"	"	" 33. 10	"
昭和37年学卒入職者の雇用実態調査結果報告	事業所の勤務時間、残業の有無、社会保険等についての結果報告	"	"	" 33. 2	"
職種別技能労働力需給状況調査	事業所における技能労働者の需給状況の調査結果	"	"	" 37. 6	"

刊行物の名称	内 容 項 目	主管部課名	刊行の 周 期	創 刊 年 月 日	定価
失業保険業務概要	失業保険の適用、給付、徴収状況の統計	失業保険課	年 刊	昭和33. 6	非売品
建築動態月報	着工建築物(棟数)確認申請書受付件数、建築審査会状況、住宅金融公庫融資設計審査合格状況	建設部指導課	月 刊	" 27. 10	"
建築動態年報	上記年間統計表および統計図表	"	年 刊	" 28. 5	"
大阪府住宅年報	住宅事情の現況と住宅対策、統計資料	住宅開発課	"	" 26. 6	"
農業協同組合年報(36年度)	府下農業協同組合の組織、事業、財務統計	農林部農政課	"	" 26. 8	"
教育調査紀要	教育に関する調査統計の1年間の結果分析	教育委員会総務課	"	" 25	"
大阪経済統計要覧	年間を通じての大阪経済の動きを計数的に捉え、過去数年の実績と対比	府立 商工経済研究所	"	" 33. 3	"
大阪経済指標	大阪経済の動向分析のための指標統計	"	月 刊	" 28. 2	"
大阪経済の動き	大阪経済と中小企業経営の動向分析	"	隔月刊	" 25. 4	"
近代工業の発展が地域経済に及ぼす影響	高槻市における実態調査	"	1回限り	" 37. 2	"
中小企業の技術革新と経営	業種別実態調査報告	"	"	" 37. 3	"
近畿二府三県における工業立地の地域分析	工場配置の再編成に関する参考資料	"	"	" 37. 4	"
地方特産工業の構造変化	アンケート調査	"	"	" 37. 4	"
大阪府を中心とした物資流動調査…統計編Ⅰ	鉄道輸送貨物	"	"	" 37. 9	"
…統計編Ⅱ	海上輸送貨物	"	"	" 37. 10	"
…統計編Ⅲ	自動車輸送貨物 その1	"	"	" 37. 11	"
…統計編Ⅳ	その2	"	"	" 37. 12	"
大阪府を中心とした物資流動調査	自動車、船舶、鉄道による貨物輸送、主要品目に見られる輸送パターンの変化	"	"	" 38. 3	"
阪神港の商品別、国別輸出額概表	大阪、神戸両港の輸出主要商品と金額	府立貿易館	年 刊	" 28. 3	"
警察統計書(36年)	大阪府警察の諸活動の統計(総務、警務、刑事、防犯警備、交通、警ら)	府警本部 総務部総務課	"	" 30. 7	"
統計月報	犯罪および交通統計資料	"	月 刊	" 30. 7	"
少年非行白書	非行少年についての各種統計	防犯部少年課	年 刊	" 32. 5	"
交通年鑑	昭和36年度中における交通費、交通施設、交通事故の状況等を総まとめにしたものである。	交通部企画課	"	" 29. 4	"
交通警察の概況	同上(昭和37年上半年)	"	"	" 34. 7	"
こどもの交通事故白書	昭和36年度中におけるこどもの交通事故の発生状況	"	随 時	" 37. 2	"
歩行者関係の死亡事故白書	昭和36年度中における歩行者の交通死亡事故の発生状況	"	随 時	" 37. 10	"
ダンプカーの交通事故白書	昭和36年、37年、1-4月におけるダンプカーによる死亡事故を統計的に分析したもの	"	1回限り	" 37. 5	"
「交通事故をなくす運動」一週年のあゆみと成果	昭和36年12月-37年11月までの年間における「交通事故をなくす運動」の成果を統計的に集録したもの	"	随 時	" 37. 12	"

各 制 単 位 換 算 表

長 さ

センチメートル	メートル	キロメートル	インチ	フィート	ヤード	マイル	釐尺	尺	間	町	里
1	0.01	0.00001	0.39370	0.03281	0.01094	-	0.0264	0.033	0.0055	-	-
100	1	0.001	39.370	3.28083	1.0936	0.00062	2.64	3.3	0.55	0.0092	0.00025
100000	1000	1	-	3280.8	1093.6	0.62137	2640	3300	550	9.1667	0.25463
2.5400	0.02540	-	1	0.08333	0.02777	-	0.06706	0.08382	0.01397	-	-
30.480	0.30480	-	12	1	0.33333	-	0.80469	1.0058	0.16763	-	-
91.440	0.9144	-	36	3	1	-	2.4140	3.0175	0.50292	-	-
160930	1609.3	1.6093	63360	5280	1760	1	4248.64	5310.8	885.12	14.752	0.40978
37.879	0.37879	0.00038	14.913	1.2427	0.41425	-	1	1.25	0.20825	-	-
30.303	0.30303	0.00030	11.930	0.9942	0.33140	-	0.8	1	0.16667	-	-
181.82	1.8182	0.00182	71.582	5.9652	1.9884	-	4.8	6	1	0.01667	0.00046
10909	109.09	0.10909	4295.04	357.92	119.30	0.06778	288	360	60	1	0.02778
392730	3927.3	3.9273	154620	12885	4295	2.4403	10368	12960	2160	36	1

面 積

平方メートル	アール	ヘクタール	平方キロメートル	平方フット	平方ヤード	エーカー	平方マイル	平方尺	坪・歩	反	町
1	0.01	0.0001	0.000001	10.764	1.1960	0.000247	-	10.890	0.30250	0.001008	0.010083
100	1	0.01	0.0001	1076.4	119.60	0.024711	0.000039	1089.0	30.250	0.10083	1.0083
10000	100	1	0.01	-	11960	2.4711	0.003861	108900	3025.0	10.083	100.83
1000000	10000	100	1	-	-	247.11	0.38610	10890000	302500	1008.3	10083
0.092903	0.000929	0.0000093	-	1	0.11	-	-	1.0117	0.02810	-	-
0.83613	0.008361	0.000084	-	9	1	-	-	9.1055	0.25293	-	-
4046.8	40.468	0.40468	0.004047	43560	4840	1	0.00156	-	-	4.0806	40.806
2589900	25899	258.99	2.5899	-	3097600	640	1	-	-	261.15	2611.5
0.091827	0.000918	0.0000092	-	0.98841	0.10982	-	-	1	0.02778	-	-
3.3058	0.033058	0.000331	0.000003	35.583	3.9537	-	-	36	1	0.02777	0.2777
991.74	9.9174	0.099174	0.000992	-	1186.1	0.24506	0.000382	10800	300	1	10
9917.36	99.1736	0.991736	0.009917	-	11861	2.4506	0.003829	108000	3000	10	1

体 積

立方センチメートル	立方デシメートル(リットル)	立方メートル	立方インチ	立方フット	立方ヤード	パイント	ガロン	立方尺	升	石	立方坪
1	0.001	0.000001	0.061024	0.000035	-	-	-	0.00004	-	-	-
1000	1	0.001	61.024	0.03531	-	2.1134	0.26417	0.03594	0.55435	-	-
1000000	1000	1	61024	35.315	1.30795	2113.4	264.17	35.937	-	5.5435	0.16667
16.387	0.01638	0.000016	1	-	-	-	-	-	-	-	-
28317	28.317	0.02831	1728	1	0.03704	-	7.4805	1.0176	15.698	0.15698	-
764529.8	764.53	0.76453	46656	27	1	-	201.97	27.475	423.83	4.2383	0.12719
473.18	0.47318	-	28.875	-	-	1	0.125	-	0.26231	-	-
3785.4	3.7854	0.00378	231	0.13368	-	8	1	0.13604	2.0985	0.020985	-
27826	27.826	0.02783	1698.1	0.98274	0.03670	-	7.3509	1	15.426	0.15426	0.00463
1803.9	1.8039	-	110.08	0.063704	-	3.8123	0.47654	0.064827	1	0.01	0.0003
180390	180.39	0.18039	11008	6.3704	0.23668	381.23	47.654	6.4827	100	1	0.03001
-	6010.5	6.0105	-	212.26	7.8615	-	-	216.00	3331.9	33.319	1

重 量

グラム	キログラム	トン(題)	グレイン	オンス	ポンド	米トン	英トン	匁	斤	貫
1	0.001	-	15.432	0.03527	0.00220	-	-	0.26667	0.00167	-
1000	1	0.001	15432	35.273	2.2046	0.00110	0.00098	266.67	1.6667	0.26667
1000000	1000	1	-	-	2204.6	1.1023	0.98421	-	1666.7	266.67
0.06480	-	-	1	0.00229	0.000743	-	-	0.01728	0.00108	-
28.350	0.02835	-	437.5	1	0.0625	-	-	7.5600	0.04725	-
453.6	0.4536	0.000454	7000	16	1	0.0005	0.00045	120.96	0.75600	0.12096
-	907.18	0.90718	-	32000	2000	1	0.8929	-	1512	241.92
-	1016.05	1.01605	-	35840	2240	1.120	1	270944	1693.4	270.95
3.75	-	-	57.872	0.13228	0.00827	-	-	1	-	-
600	0.6	0.0006	9259.6	21.164	1.3228	-	-	160	1	0.16
3750	3.75	0.00375	57872	132.28	8.2672	0.00416	0.00369	1000	6.25	1

昭和38年版 大阪府統計年鑑

昭和39年3月1日印刷  
昭和39年3月20日発行

編 集 行 大阪府企画部統計課  
大阪市東区大手前の町2の1  
電話 東 03077  
印刷所 大阪府営印刷所  
大阪市東区大手前の町4  
電話 東 04759